

大学共同利用機関シンポジウム 2026

我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか

— 宇宙の始まりから人類の未来へ —

D'où venons-nous ?

Que sommes-nous ?

Où allons-nous ?



ポール・ゴッガン《我々は何処から来たのか、我々とは何者か、我々はどこへ行くのか》1897年、ボストン美術館所蔵、画像提供：アフロ

人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館／国文学研究資料館／国立国語研究所／国際日本文化研究センター／総合地球環境学研究所／国立民族学博物館
自然科学研究機構 国立天文台／核融合科学研究所／基礎生物学研究所／生理学研究／分子科学研究所
高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所／物質構造科学研究所／加速器研究施設／共通基盤研究施設
情報・システム研究機構 国立極地研究所／国立情報学研究所／統計数理研究所／国立遺伝学研究所
宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所／総合研究大学院大学

2026(令和8年) **10.17** (土) 13:00 - 17:30

東京科学大学 大岡山キャンパス デジタル多目的ホール 東京都目黒区大岡山2-12-1

YouTube同時配信

- 主催：大学共同利用機関協議会／一般社団法人大学共同利用研究教育アライアンス ●後援：文部科学省
- お問い合わせ：大学共同利用機関協議会 広報ワーキンググループ事務局（国立天文台）／〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
- E-mail：contact-sohmu@dl.nao.ac.jp

参加無料
申込不要

イベントの詳細や最新情報につきましては、
右記の特設サイトをご確認ください。

<https://www.nao.ac.jp/study/inter-sympo2026/>



大学共同利用機関シンポジウム 2026

主催：大学共同利用機関協議会／一般社団法人大学共同利用研究教育アライアンス

後援：文部科学省

学生を含む一般市民層に対して、大学共同利用機関のこれまでの成果と役割を改めて共有し、各機関及び法人の認知度を向上させるために本シンポジウムを開催します。また、テーマに沿った最新の研究を各機関から紹介することで、学術研究が社会とどのように繋がり、未来を形づくっていくかを体感できる機会を提供し、将来の研究者候補や社会の担い手となる若い世代が関心と可能性を広げる知の最前線に触れ、自らの問いを見つける場となることを目的としています。

タイムスケジュール

13:00-13:05 開会挨拶

川合 真紀

一般社団法人大学共同利用研究教育アライアンス代表理事／
自然科学研究機構 機構長



13:05-13:10 来賓挨拶 文部科学省 (予定)

13:10-15:10 研究発表 ①

司会 小久保 英一郎

国立天文台 教授



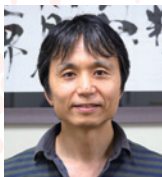
1

我々はなぜ存在しているのか？

— SuperKEKBで紐解く宇宙の歴史

松岡 広大

高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 教授



2

惑星と生命の誕生

— 大型望遠鏡で探る多様性の起源

野村 英子

自然科学研究機構 国立天文台 教授



3

過去の南極から 未来の地球を探る

石輪 健樹

情報・システム研究機構 国立極地研究所 助教



4

光を集める生物の謎に迫る： 30億年を超える環境適応の果てに

近藤 徹

自然科学研究機構 基礎生物学研究所 教授



15:10-15:25 休憩

15:25-17:25 研究発表 ②

司会 久留島 典子

総合研究大学院大学 理事・副学長



5

渡来人とは誰か

高田 貫太

人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 教授



6

徳之島の芸能を生きる

——記録映像が映し出す人々の記憶

福岡 正太

人間文化研究機構 国立民族学博物館 教授



7

量子マルチビームへの期待

近藤 寛

高エネルギー加速器研究機構
PFユーザアソシエーション(PF-UA)会長／
慶應義塾大学 教授



8

フィジカルAI時代の到来と その先

小林 泰介

情報・システム研究機構 国立情報学研究所 助教



17:25-17:30 閉会挨拶

齊藤 直人

大学共同利用機関協議会 会長
／素粒子原子核研究所 所長



会場アクセス

東京科学大学 大岡山キャンパス
デジタル多目的ホール

〒152-0033 東京都目黒区大岡山2-12-1

- 大岡山駅(東急大井町線・目黒線)…大岡山東地区 正門まで徒歩1分
- 緑が丘駅(東急大井町線)…緑が丘地区 西門まで徒歩3分
- 石川台駅(東急池上線)…石川台地区 南門まで徒歩7分